

(6ページから続く)

目的別歳出の内訳は第2図のとおりですが、構成比が最も高いのは民生費で、歳出総額の18・4%、次いで公債費が16・5%、衛生費13・6%、総務費11・7%、教育費10・3%の順となっています。

民生費は社会福祉、児童福祉、老人福祉のための各種経費が主なもので、介護保険給付費繰出金等の増加により、前年度より1・0%の増となりました。

公債費は、町が前年度までに借り入れた町債の償還にあてるための経費ですが、前年度において町債の満期一括償還をしているため、前年度より16・9%の大幅な減となりました。

衛生費は、上水道、感染症予防、火葬場、公立小野町地方総合病院、ごみ・し尿処理のための経費が主なもので、水道会計への出資金等の増加により、前年度より16・5%の増となりました。

総務費は、総務管理、徴税、戸籍、選挙、統計調査のための経費が主なもので、人件費等の減少により、前年度より4・9%の減となりました。

教育費は小中学校の振興・管理経費、社会教育及び社会体育に関する経費が主なもので、前年度より0・1%の増となりました。

諸支出金は財政調整基金、公共施設等建設準備基金等の各種基金への積立が主なもので、財政調整基金等への積立増により、前年度より28・3%の増となりました。

農林水産業費は農林業の振興のための各種経費が主なもので、前年度より6・3%の減となりました。

土木費は町道の維持管理、舗装新設改良等のほか、住宅管理、河川、都市下水路の管理、都市計画に関する経費が主なもので、前年度より14・8%の減となりました。

災害復旧費は、平成16・17年度に発生した災害の復旧費用増加により、前年度より75・7%の大幅な増となりました。

このほか、議会費、労働費、商工費、消防費において、「定住と交流と快適環境のまちづくり」実現のための各種事業を実施しました。



## 平成17年度決算

## 特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計	歳入	12億7,805万1千円
	歳出	12億38万6千円

老人保健特別会計	歳入	14億637万3千円
	歳出	13億9,296万9千円

介護保険特別会計	歳入	6億3,760万3千円
	歳出	6億3,581万円

文化・体育振興基金特別会計	歳入	566万円
	歳出	513万4千円

水道事業会計	歳入	収益的収入 1億6,920万4千円
	歳入	資本的収入 3億6,756万8千円
水道事業会計	歳出	収益的支出 1億4,672万3千円
	歳出	資本的支出 4億1,646万2千円



磐越道小野ICとあぶくま高原道路